

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	消防総務課長 芥川 忠	
消防-04	重点事業	消防施設整備事業	自治事務	主管課 消防総務課
			法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民及び消防職員等
意図	消防署所から遠距離にある地域の防火防災体制の強化等を図るとともに、防災拠点である消防署所の機能整備を図る。
効果	災害を最小限に抑え、救命率の向上及び、より快適、安全で安心に暮らせるまちづくりを図る。

2 平成28年度に実施した事業の概要

腰越地区の消防拠点である腰越出張所を建替えるため、改築工事を行い、消防団第22分団器具置場を併設した。

3 事業費等基礎データ

データ 人口等の データ	データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考 ・各年3月31日 (住民基本台帳)
	人 口	177,243人	176,869人	人 口	176,466人	
	世 帯 数	80,676世帯	80,928世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	50,483	324,336	当初予算(千円)	2,560	
	国県支出金	15,500	7,500	国県支出金		
	地方債	28,100	237,800	地方債		
	その他			その他		
	一般財源	6,883	79,036	一般財源	2,560	
	人員配置数	0.6	0.5	人員配置数	0.5	
	人 件 費(千円)	4,715	3,911	人 件 費(千円)	4,023	
事業 経費 運営	総事業費(千円)	55,198	328,247	総事業費(千円)	6,583	
	市民1人当りの 経費(円)	311	1,856	市民1人当りの 経費(円)	37	
	対象者1人当り の経費(円)			対象者1人当り の経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
	協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		腰越出張所の改築工事完了に伴い予算規模は縮小しますが、今後も公共施設再編計画に基づき消防庁舎の整備を実施します。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防力の充実強化に努め、市民の安心・安全をテーマに質の高いサービスを提供します。	

